

2022年度  
事業報告書

自2022年4月1日 至2023年3月31日

公益財団法人 日本中毒情報センター

## 2022 年度事業報告書 目次

I 総務報告	3
1. 理事会	3
2. 評議員会	4
3. 寄附の状況	5
4. 国庫補助金、科学研究費補助金等交付状況	5
5. NBC 災害・テロ対策研修の実施	5
6. 相談電話の受信状況	6
7. 賛助会員募集と会費納入状況	6
II 事業報告	
[概要]	7
[詳細]	
1. 情報提供事業	11
(1) 電話応答	
(2) ホームページ	
(3) 非緊急情報提供サービス	
2. 資料収集・整備事業	12
(1) 基礎資料作成	
(2) 中毒情報検索用データベース開発状況	
(3) 統計解析用データベースの整備	
3. 啓発・広報事業	13
4. 教育・調査・研究事業	14
(1) 教育事業	
(2) 調査・研究事業	
(3) 講演および学会発表、論文発表	
5. 連絡・調整事業	18
6. その他	18
表 1: 年別受信件数とその起因物質構成比	
表 2: 中毒 110 番 月別受信件数	
表 3: 中毒 110 番 都道府県別受信件数推移表	

# I 総務報告

## 1. 理事会

2022年度における理事会は、以下のとおり開催された。

### ●第46回理事会

- (1) 開催日時 2022年5月30日(月) 13:30~14:35
- (2) 開催方式 定款第42条第5項に基づく会議電話による開催
- (3) 理事の総数 6名
- (4) 定足数 4名
- (5) 出席理事数 6名  
吉岡敏治、嶋津岳士、水谷太郎、藤田慎一、奥村徹、遠藤容子
- (6) 出席監事数 2名  
島崎修次、中山和則
- (7) 理事会決議の目的である事項：
  - ① 2021年度事業報告(案)の承認
  - ② 2021年度決算報告(案)の承認

### ●第47回定例理事会

- (1) 開催日時 2022年6月21日(火) 12:30~13:40
- (2) 開催場所 スクワール麴町「華」
- (3) 理事の総数 7名
- (4) 定足数 4名
- (5) 出席理事数 7名  
吉岡敏治、嶋津岳士、水谷太郎、藤田慎一、奥村徹、遠藤容子、高野博徳
- (6) 出席監事数 1名  
中山和則
- (7) 理事会決議の目的である事項：
  - ① 役員の重任並びに新任の承諾と役付理事の選任について

### ●第48回理事会

- (1) 開催日時 2022年9月5日(月)
- (2) 開催方式 定款第42条第5項に基づく電磁的方法による開催
- (3) 理事の総数 7名
- (4) 監事の総数 2名
- (5) 理事会決議の目的である事項：
  - ① 賃金(時給)職員処遇規程の賃金職員時給単価の改定について
  - ② 専門職職員給与規程の改訂について

●第 49 回理事会

- (1) 開催日時 2022 年 12 月 12 日 (月)
- (2) 開催方式 定款第 42 条第 5 項に基づく電磁的方法による開催
- (3) 理事の総数 7 名
- (4) 監事の総数 2 名
- (5) 理事会決議の目的である事項：
  - ① 重要な職員の選任について

●第 50 回定例理事会

- (1) 開催日時 2023 年 3 月 20 日 (月) 10:25 ~11:55
- (2) 開催場所 東京駅八重洲倶楽部 第 7 会議室
- (3) 理事の総数 7 名
- (4) 定足数 4 名
- (5) 出席理事数 6 名  
吉岡敏治、水谷太郎、藤田慎一、奥村徹、遠藤容子、高野博徳
- (6) 出席監事数 1 名  
中山和則
- (7) 理事会決議の目的である事項：
  - ① 2023 年度事業計画 (案) について
  - ② 2023 年度収支予算 (案) について
  - ③ 2023 年度資金調達及び設備投資の見込について
  - ④ 規程の変更について
  - ⑤ 第 12 回評議員会の開催について

2. 評議員会

2022 年度における評議員会は、以下の通り開催された。

●第 11 回評議員会

- (1) 開催日時 2022 年 6 月 21 日 (火)
- (2) 開催場所 東京都千代田区麹町 6-6 スクワール麹町「華」
- (3) 評議員総数 11 名
- (4) 定足数 6 名
- (5) 出席評議員 10 名  
(出席評議員) 井上貴昭、郡山一明、西條宏之、坂本哲也、高田和男、  
豊島 聰、西森康夫、松浦克浩、山下陽一郎、山田晴久  
(欠席評議員) 長島公之
- (4) 議事 (審議議決事項)
  - ① 2021 年度事業報告 (案) の承認
  - ② 2021 年度決算報告 (案) の承認
  - ③ 定款の変更

- ④ 評議員の選任
- ⑤ 理事の選任
- (5) 参考（報告事項）
  - ① 2022 年度事業計画について
  - ② 2022 年度収支予算について
  - ③ 当法人の運営基盤の確立に向けた活動について

### 3. 寄附の状況

2022 年度は、基本財産の寄附はなかったが、事業運営に係る寄附として、法人では全国農業協同組合連合会より 100 万円、個人では 13 名の寄附者より合計 36 万円、総合計 136 万円のご寄附を頂いた。

### 4. 国庫補助金、科学研究費補助金等交付状況

日本中毒情報センター情報基盤整備事業補助金として、2022 年度に厚生労働省から交付を受けた補助金の額、及びこれまでの累計額は下表の通りである。

(単位：千円)

交付年月日	年度別交付金額	累計交付金額
昭和 62 年以降累計	(26 年間)	634,080
平成 24. 8. 21	14,770	648,850
25. 9. 11	14,770	663,620
26. 9. 9	14,995	678,615
27. 11. 16	14,995	693,610
28. 11. 29	14,995	708,605
29. 9. 20	14,995	723,600
31. 1. 15	14,995	738,595
令和 2. 1. 17	14,995	753,590
3. 3. 29	14,995	768,585
4. 3. 17	14,995	783,580
4. 12. 6	14,995	798,575

### 5. NBC 災害・テロ対策研修の実施

当法人では厚生労働省の委託を受け、2005 年度まで化学災害研修（毒劇物テロ対策セミナー）を実施していたが、2006 年度以降は N と B とを加え、NBC 災害・テロ対策研修として実施している。2022 年度は 2 回開催し、本事業の委託費は 7,370,000 円であった。

開催日： 第 1 回：2022 年 11 月 10 日（金）～11 月 12 日（日）  
 於：大阪急性期・総合医療センター  
 受講生：10 チーム 50 名

第2回：2022年12月9日（木）～12月11日（土）  
 於：筑波メディカルセンター病院・筑波大学  
 受講生：10チーム46名

#### 6. 相談電話の受信状況

大阪中毒110番並びにつくば中毒110番の2022年における一般市民用無料電話及び専用電話による相談電話の受信状況は以下の通りである。

2022年の一般市民用無料電話受信状況 (単位・件)

	大阪中毒110番	つくば中毒110番	合計
一般市民	18,020	13,942	31,962
医療機関	205	198	403
その他	530	614	1,144
件数合計	18,755	14,754	33,509

2022年の専用電話の受信状況 (単位・件)

	大阪中毒110番	つくば中毒110番	合計
医療機関専用電話	551	366	917
賛助会員専用電話	823	415	1,238
件数合計	1,374	781	2,155

注) 電話相談の受信件数は、暦年(1月～12月)での集計であり、当該件数は2022年の実績である。

#### 7. 賛助会員数と会費状況

賛助会員数は数年前から減少傾向となっているが、2022年度は救命救急センター設置病院への病院会員の働きかけを行い、前年対比30件の増加となった。会費額合計も9,300万円と前年度対比461万円の増加となった。

会員数並びに会費状況は以下のとおりである。

2022年度賛助会員数及び会費状況

		会員数(件)	会費額(円)	会費年額(円)
個人会員	1	905	9,050,000	@10,000
団体 会員	病院	292	29,200,000	@100,000(除DVD会員)
	企業	20	2,050,000	@100,000
	名義使用	104	52,000,000	@500,000
	行政	7	700,000	@100,000
合計		1,328	93,000,000	

注) 上記実績は2022年度賛助会年度(2022年5月～2023年4月)における件数並びに金額を集計したものであり、会計年度の実績とは異なる。

## Ⅱ 事業報告

### [概要]

今年度も情報提供、資料収集・整備をはじめとする各種事業に積極的に取り組んだ。

電話応答による情報提供事業では、2022年に両中毒110番で受信した総受信件数は35,664件であり、昨年より526件減少した。名義使用企業会員を対象とした製品事故情報等のフィードバック・サービス(速報サービス)には、25社が参加し、2,702件の速報と283件の続報サービスを行った。また、医薬品による副作用等緊急の安全性に関する情報について、製薬企業の対応時間外に企業に代わって情報提供を行う受託業務は、5社から委託を受けて、合計で941件の照会に対応した。

Webサイトのアクセス件数は269,499件であった。一般向けの注意喚起として、季節性のある中毒事故を中心に13件の記事を掲載した。

資料収集・整備事業では、中毒情報センターの受信状況や収集した症例により得られた知見等を加えて、事故の発生実態に即した対応を行うための初期対応ファイルの整備を進めている。今年度は医薬品14件、自然毒6件について整備を行った。同時に2023年度中(2024年3月まで)に書籍「発生状況からみた急性中毒初期対応のポイントー医薬品・自然毒編」(へるす出版)として発刊に向けた作業を進めている。

広報・啓発事業、教育・調査・研究事業も例年どおり実施した。講演については、医療従事者等への当財団の活動を紹介する講演をはじめ、化学災害対応を行う消防・警察職員や農薬取扱者などに対し15件の講演を行うとともに、6件の学会発表、3編の論文発表、6編の定期掲載物執筆を行った。

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課化学物質安全対策室の「化学的健康被害症例対応システム」において情報提供業務「消費者製品に含まれる化学物質による健康被害症例収集業務」としてデータ提供を行った。また、消費者庁消費者安全課の「事故情報データバンク」へのデータ登録を実施した。

今年度も厚生労働省からの委託事業である「NBC災害・テロ対策研修」を2回(大阪市、つくば市)開催した。

以下に、2022年度事業の概略を述べる。

### 1. 情報提供事業

#### 1) 電話応答

2022年に両中毒110番で受信した総受信件数は35,664件であり、昨年より526件減少した。品目別受信件数では、単品として最も多いのは例年同様たばこであった。なお、2022年の受信報告は雑誌「中毒研究」第36巻第3号に掲載予定である。

2008年度より名義使用企業会員を対象に開始した製品事故情報等のフィードバック・サービスには、2023年3月時点で25社が参加しており、2,702件の速報と283件の続報サービスを行った。

また、2006年5月より開始した医薬品による副作用等、緊急の安全性に関する情報について、製薬企業の対応時間外に企業に代わって情報提供を行う業務は、5社から委託を受けて、合計で941件の照会に対応した。それぞれの照会件数は380件(昨年度より216件減)、146件(昨年度より16件減)、291件(昨年度より209件減)、53件(昨年

度より 35 件減)、71 件 (昨年度より 2 件増) であった。

## 2) ホームページ

2022年のアクセス件数は269,499件(前年265,371件)で、2019年5月7日のリニューアル後の総アクセス件数は826,504件となった。

### ①「一般向け」サイト

中毒に関する話題、求人案内、更新情報などを掲載した。トップページのページビュー数は99,597件(前年103,217件)であった。一般向けの注意喚起として、季節性のある中毒事故を中心に13件の記事を掲載し、あわせてTwitterによる情報提供を行った。

### ②「医療従事者向け」サイト

トップページのページビュー数は21,553件(前年25,944件)、中毒情報の検索ページのビュー数は44,179件、中毒情報のダウンロード数は239件であった。

### ③「企業向け」サイト

トップページのページビュー数は2,814件(前年2,773件)であった。2022年7月より、名義使用賛助会員向けの新たなコンテンツとして、製品分類別の問い合わせ件数(速報値)の公開を開始した。

## 3) 非緊急情報提供サービス

企業・マスコミ・行政等に対する各種統計情報、毒性情報等の提供件数は、56件であった。そのうち殺人事件や混入事件に使用された化学物質に関する問い合わせが10件あった。また、企業賛助会員向けのサービスとして行っている自社製品の問い合わせ件数や健康被害事故状況(商品名、患者年令、状況、症状等に関する一覧)の提供件数は112件であった。

## 2. 資料収集・整備事業

昨年度と同様に、オリジナルファイル、商品情報ファイル等の基礎資料を作成し、中毒情報検索用データベース(医療機関向け中毒情報検索システム JP-M-TOX)を更新して、WINDOWS版DVD-ROM(JP-M-TOX Ver.28.0)を発行した。今年度もデータ整備と検索システム化の全てを内部で行い、販売用のDVD-ROM作成を業者に委託し作成した。また、利用拡大を目指した新たなシステムについて収載データの検討を開始した。

一般市民対応用の用途別中毒情報(手引きファイル)については、中毒情報センターの受信状況や収集した症例により得られた知見等を加えて、事故の発生実態に即した対応を行うための初期対応ファイルへの更新を順次行い、あわせて書籍として編集・出版を進めている。今年度は、医薬品14件、自然毒6件について情報の更新、医師の査読を行い、整備を終了した。一般市民対応用の用途別中毒情報(初期対応ファイル、手引きファイル)の総数は693件となった。初期対応ファイルについてはさらに医薬品17件、自然毒9件を整備中であり、既に整備が終了したファイルと合わせて、書籍「発生状況からみた急性中毒初期対応のポイントー医薬品・自然毒編」(へるす出版)として2023年度中の発刊に向けた作業を進めている。

また、2022年に受信したヒトの急性中毒に関する問い合わせデータ26,978件の解析作業を行い、解析結果を雑誌「中毒研究」第36巻第3号に公表予定である。医療機関からの問い合わせ全症例(動物を含む)に追跡調査を実施し、2,046件の問い合わせに対して

調査用紙を発送して、1,233 症例について回答を得た（回答率 60.3%）。そのほか、JPIC web サイトから中毒資料をダウンロードした医療従事者に対して症例調査への協力を依頼し回答を得た症例、医療機関から自主的に症例情報の登録を受けた症例等、121 症例を収集した。令和 4 年までの症例収集数は 57,648 症例となった。

### 3. 啓発・広報事業

10 周年記念事業として開始した自動音声応答による「たばこ誤飲事故専用電話」（072-726-9922）の 2022 年の利用件数は 2,800 件であった。なお、開始時点（1996 年 5 月）からの累計は 226,525 件となった。

本年も「たばこ誤飲防止」啓発資料について一般社団法人日本たばこ協会に協力を頂いて、リーフレット 122 万部、ポスター 1 万 4 千部を 12 月に全国の保健センター 2,358 箇所、保健所 453 箇所に配布した。また、新聞・テレビ等マスコミによる取材、製品包装への名義使用にも例年どおりに協力した。

### 4. 教育・調査・研究事業

2012 年度より開始した医師向け研修をはじめ、2006 年度より受け入れを行っている薬学部学生の早期体験学習、実務実習に関連した研修・見学は、12 回実施した。医師向け研修は、中毒 110 番での情報提供体験を通じて、プレホスピタルからの中毒診療の流れを理解し、さらに臨床現場だけでは充分経験できない幅広い中毒の知識と対応スキルを身につけることを狙いとしている。講演については、医療従事者等への法人の活動を紹介する講演をはじめ、化学災害対応を行う消防・警察職員、行政担当者や毒物劇物取扱責任者などに対し 15 件の講演を行った。

研究活動は、6 件の学会発表、および 3 編の論文発表、6 編の定期掲載執筆を行った。

また、昨年度に引き続き、厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課化学物質安全対策室の「化学的健康被害症例対応システム」に関連し、本システムへの情報提供業務「消費者製品に含まれる化学物質による健康被害症例収集業務」を受託し、データ提供を行った。また、消費者庁消費者安全課の「事故情報データベース」に対して、中毒 110 番で収集したデータ（一部）を登録した。

### 5. 連絡・調整事業

昨年度に引き続き、奥村理事が厚生労働省厚生科学審議会厚生科学研究評価委員、消費者庁消費安全調査委員会の専門委員のほか、環境省原子力規制庁の放射線対策委託事業に協力した。また、量子科学技術研究開発機構で行われている国民保護 CR 初動セミナー（年 2 回）を共催し、吉岡代表理事、奥村理事が講演、演習指導を行った。厚生労働省薬事・食品衛生審議会の本委員（薬事分科会、毒物劇物部会担当）として遠藤施設長が、臨時委員（指定薬物部会担当）として高野施設長が、専門委員（家庭用品安全対策調査会担当）として波多野施設次長が、専門委員（毒物劇物調査会担当）として三瀬施設次長が協力した。また、厚生労働省厚生科学審議会健康危機管理部会の臨時委員として遠藤施設長が、同省医薬・生活衛生局審査管理課の医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討委員会の委員として高野施設長が、消費者庁消費者安全調査委員会の臨時委員とし

て波多野施設次長が協力した。

なお、化学テロ初動対応機関向けの Web 講義を、2021 年 4 月 1 日より当法人 Web サイトにて配信している。

## 6. その他

### 1) 厚生労働省からの委託事業「NBC 災害・テロ対策研修」

厚生労働省医政局地域医療計画課からの委託により、昨年度に引き続き「NBC 災害・テロ対策研修」を2回開催した。受講者は救命救急センター等の臨床医、看護師、薬剤師、事務員等で構成された1チーム5名（施設参加）で、3日間の研修を行う。第1回は11月10日～12日（大阪市）に10施設（50名）、第2回は12月9日～11日（つくば市）に10施設（46名）に対し、地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター、および公益財団法人筑波メディカルセンター、国立大学法人筑波大学のご協力のもと、研修を実施した。

## [詳細]

### 1. 情報提供事業

#### (1) 電話応答

2022年に両中毒110番で受信した総受信件数は35,664件であり、昨年より526件減少した。大阪中毒110番の一般市民専用電話受信件数は、18,755件、医療機関専用電話は551件、賛助会員専用電話は823件、合計は20,129件で昨年と比較すると878件減少した。また、つくば中毒110番の一般市民専用電話受信件数は14,754件、医療機関専用電話は366件、賛助会員専用電話は415件、合計は15,535件で昨年と比較すると352件増加した。

2022年の受信報告は雑誌「中毒研究」第36巻第3号に掲載予定である。品目別受信件数では、単品として最も多いのは例年同様たばこであった。

医薬品による副作用等、緊急の安全性に関する情報について、製薬企業の対応時間外に企業に代わって情報提供を行う受託業務を平成18年5月より開始している。5社から委託を受けて、それぞれの照会件数は380件(昨年度より216件減)、146件(昨年度より16件減)、291件(昨年度より209件減)、53件(昨年度より35件減)、71件(昨年度より2件増)であった。

2008年度より名義使用企業会員を対象に開始した、製品事故情報等のフィードバック・サービスには、2023年3月時点で25社が参加しており、2,846件の速報と283件の続報サービスを行った。

#### (2) ホームページ

中毒110番の電話相談が減少しているなか、特に医療従事者のJPICの利用および症例収集を促進するためにWebサイトをリニューアルし、2019年5月7日より運用を開始した。2022年のアクセス件数は269,499件(前年265,371件)で、リニューアル後の総アクセス件数は826,504件となった。

##### ① 「一般向け」サイト

中毒に関する話題、求人案内、更新情報などを掲載した。トップページのページビュー数は99,597件(前年103,217件)であった。一般向けの注意喚起として、季節性のある中毒事故を中心に13件の記事を掲載し、あわせてTwitterによる情報提供を行った。

##### ② 「医療従事者向け」サイト

トップページのページビュー数は21,553件(前年25,944件)で、職種別の内訳は、医師43%、薬剤師28%(うち院内23%、調剤5%)、看護師8%、その他の医療関係者10%、消防8%、「NBCテロその他大量殺傷型テロ対処現地関係機関モデル」における関係機関2%、獣医師1%であった。中毒情報の検索ページのページビュー数は44,179件、中毒情報のダウンロード数は239件であった。

また、会員向けコンテンツ(医療従事者向け、企業向け共通)として、中毒関連文献検索データベースの書誌情報(154件)を追加した。

##### ③ 「企業向け」サイト

トップページのページビュー数は2,814件(前年2,773件)であった。公開許可をいただいた企業について、賛助会員企業名簿を更新した。

2022年7月より、名義使用賛助会員向けの新たなコンテンツとして、製品分類別の問い

合わせ件数（速報値）を公開し毎月更新している。また、非会員企業が名義使用賛助会員への入会を検討するきっかけとなることを期待して、本コンテンツの一部を非会員にも公開している。

### （3）非緊急情報提供サービス

“非緊急”、つまり、現在治療すべき患者がいない場合、または、自らは治療を行っていない組織（企業、行政、マスコミ等）からの問い合わせは、中毒110番業務に支障をきたさないよう、各担当から各種統計情報や資料等を提供している。2022年度は56件の問い合わせがあった。問い合わせ件数が多かったものとして、殺人事件や混入事件に使用された化学物質について10件（メタノール5件、塩素系漂白剤3件、タリウム2件）、ギンナン3件（2022年9月30日にJPICホームページで注意喚起）があった。以下に問い合わせがあった機関別の件数をまとめた。

非緊急時の情報提供		合計（56件）
報道／出版関連	29件	（朝日新聞、読売新聞、NHK、テレビ朝日等）
医療関連機関	5件	（千葉市消防局、高槻市消防本部等）
行政機関	3件	（東京都等）
医療機関	12件	
その他	7件	（企業等）

企業賛助会員向けサービスとして行っている自社製品の問い合わせ件数や、健康被害事故情報の企業別提供件数は112件で、詳細は下表の通りである。

会員種別	提供内容
企業賛助会員	14件 自社製品の問い合わせ件数のみ
名義使用賛助会員	98件 自社製品で問い合わせがあった商品名、患者年齢、状況、症状等の健康被害事故情報の一覧表

## 2. 資料収集・整備事業

昨年度に引き続き、厚生労働省から交付を受けた国庫補助金（中毒情報センター情報基盤整備事業）による中毒情報に関する資料の収集と整備を行った。

### （1）基礎資料作成

#### 1）中毒情報ファイル（オリジナルファイル、初期対応ファイル、手引きファイル）

一般市民対応用の用途別中毒情報「手引きファイル」は、中毒情報センターの受信状況や収集した症例により得た知見等を加えて、事故の発生実態に即した対応を行うための「初期対応ファイル」への更新を順次行い、あわせて書籍として編集・出版を進めている。今年度は、医薬品14件、自然毒6件について情報の更新、医師の査読を行い、整備を終了した。一般市民対応用の用途別中毒情報（初期対応ファイル、手引きファイル）の総数は693件となった。また医薬品17件、自然毒9件を整備中（仕掛け）であり、整備済みの42件（医薬品31件、自然毒11件）とあわせて医師の査読を受け、書籍「発生状況からみた急性中毒初期対応のポイントー医薬品・自然毒編」（へるす出版）として2023年度中の発刊に向けた作業を進めているところである。

#### 2）商品情報ファイル

新規に作成された商品情報ファイルは2,571品目で、累計は94,400品目となった。情報整備作業は、名義使用企業会員対象の製品事故情報等のフィードバック・サービ

スにおける対象製品を最優先で実施し、その他、名義使用会員からの情報提供分や事故発生時に緊急照会し提供を受けた情報等についても順次進めている。また設立以来蓄積してきた古い形式の文書データについても、現行のデータベースへの移行作業を進めている。

### 3) 文献情報ファイル

例年と同様、新着雑誌や医学関連文献を検索できるデータベースから中毒関連文献を抽出し、文献データベースに3,249件を登録した。JPICの会員向けWebサイトで公開している中毒文献書誌情報(和雑誌収載文献)は、154件の書誌情報を追加し、13,247件となった。

## (2) 中毒情報検索用データベース開発状況

医療機関向け中毒情報検索システム(JP-M-TOX)の検索システム部分を更新し、WINDOWS版DVD-ROM(JP-M-TOX Ver.28.0)を発行した。今年度もデータ整備と検索システム化の全てを内部で行い、販売用のDVD-ROM作成を業者に委託し作成した。

DVD-ROMには、商品情報56,527ファイルとオリジナルファイル718ファイル、初期対応ファイル304ファイル、手引きファイル152ファイルと基本治療ファイル8ファイル、解毒剤ファイル24ファイルを収載した。検索可能な中毒起因物質の名称は194,524件であり、賛助会DVD-ROM会員である医療機関および医療行政機関で利用されている。

## (3) 統計解析用データベースの整備

2022年に入手した受付登録データ(35,664件)を入力し、そのうちヒトの急性中毒に関するデータ26,978件の解析作業を行った。解析結果は、例年と同様、雑誌「中毒研究」第36巻第3号に公表予定である。

医療機関からの問い合わせ全症例(動物を含む)に対し、追跡調査を実施した。2,046件の問い合わせに対して調査用紙をFAXもしくは郵送で送付するほか、2022年7月からJPICWebサイトで症例情報を登録するシステムの利用を開始し、1,233症例について回答を得た(回答率60.3%、うちFAXによる返信295件、JPICWebサイトで登録17件)。そのほか、JPICWebサイトから中毒資料をダウンロードした医療従事者に対して症例調査への協力を依頼し回答を得た症例、医療機関から自主的に症例情報の登録を受けた症例等、121症例を収集した。令和4年までの症例収集数は57,648症例となった。

## 3. 啓発・広報事業

10周年記念事業として開始した自動音声応答による「たばこ誤飲事故専用電話」(072-726-9922)の2022年の利用件数は2,800件であった。なお、開始時点(1996年5月)からの累計は226,525件となった。

本年も「たばこ誤飲防止」リーフレット及びポスターを、一般社団法人日本たばこ協会に協力を頂いて制作し、リーフレット122万部、ポスター1万4千部を12月に全国の保健センター2,358箇所、保健所453箇所に配布した。このリーフレットは好評を得ており、1,000部以上の追加配布の要望がある。

2022年度に実施した主な啓発・広報活動を下表にまとめた。

### (1) 出版・展示関係

時期	出版物・展示	内容
----	--------	----

11.	第1回 NBC 災害・テロ対策研修 テキストブック[配信]	研修テキスト
12.	第2回 NBC 災害・テロ対策研修 テキストブック[配信]	研修テキスト
12.	たばこ誤飲防止ポスター、リーフレット[配布]	誤飲事故を防止するために

## (2) 名義使用関係

(総数 79 件)

公共団体	37 件	(消費者庁、都道府県、市区町村、保健所、病虫害防除所 等)
企業	28 件	(名義使用賛助会員 等)
出版／報道関係	3 件	(風讀社、新聞各社 等)
その他の団体	11 件	(農薬工業会、全国農薬協同組合 等)
その他	なし	(病院 等)

## 4. 教育・調査・研究事業

### (1) 教育事業

2012 年度より開始した医師向け研修をはじめ、2006 年度より受け入れを行っている薬学部学生の早期体験学習、実務実習に関連した研修・見学を次のとおり計 12 回実施した。

#### 1) 医師向け研修

医師向けの中毒 110 番体験研修は、中毒 110 番での情報提供体験を通じて、プレホスピタルからの中毒診療の流れを理解し、さらに臨床現場だけでは充分経験できない幅広い中毒の知識と対応スキルを身につけることを狙いとした特徴ある研修である。

東京ベイ・浦安市川医療センターの後期研修医 6 名(2022 年 7 月 1 名、10 月 1 名、11 月 1 名、2023 年 1 月 1 名、2 月 1 名、3 月 1 名)、東京都立小児総合医療センターの医師 1 名(2022 年 1 月)がつくば中毒 110 番で研修を受けた。

#### 2) 薬剤師向け研修

大阪大学医学部附属病院薬剤部の研修生(令和 4 年 6 月 28 日 19 名、9 月 30 日 20 名、12 月 27 日 8 名)に対して講義を実施した。

#### 3) 薬学部学生の「早期体験学習」

令和 4 年 9 月 7 日に神戸薬科大学 1 年生 6 名に対して大阪中毒 110 番にて実施した。

#### 4) 薬学部学生の長期実務実習に関連した見学・実習

薬局実習や病院実習を受講中の薬学部 5 年生を対象に、令和 4 年 10 月 18 日に 7 名の見学や実習を実施した。

内訳 奥羽大学 2 名、国際医療福祉大学 2 名、日本大学 2 名、城西国際大学 1 名

### (2) 調査・研究事業

厚生労働科学研究費補助金による研究を行うとともに、行政機関(厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課化学物質安全対策室、消費者庁消費者安全課)に対して「中毒事故事例の報告」を行った。

## 1) 中毒事件事例の収集と報告

行政機関等に対して行った「中毒事例の報告」は以下の通りである。

### 1. 厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課化学物質安全対策室 消費者製品に含まれる化学物質による健康被害症例収集業務

2019 年度より、消費者製品に含まれる化学物質を原因とする健康被害症例について、科学的な知見に基づき対応を検討しその重大性に基づき化学物質規制または注意喚起等の行政対応をとり同様の健康被害を防ぐことを目的に「化学的健康被害症例対応システム」の運用が開始された。日本中毒情報センターは旧制度に引き続き、本システムへの情報提供業務「消費者製品に含まれる化学物質による健康被害症例収集業務」を受託し、データ提供を行った。

4 半期ごとの定例報告として 4-6 月 20 例、7-9 月 14 例、10-12 月 13 例、1-3 月 10 例を報告した。異常事例（死亡事例、入院事例、加療 30 日以上的事例など）として、浴室用洗剤の吸入事例 1 例を報告した。

### 2. 消費者庁消費者安全課の「事故情報データバンク」への、中毒 110 番で収集したデータ（一部）の登録

登録対象は医療機関から問い合わせを受けた症例のうち、追跡調査により転帰が判明した「入院加療を必要とした不慮の事件事例」とし、「公益財団法人日本中毒情報センター 中毒事故に関する受付登録データベース」として取り扱われる。今年度登録の 60 症例は、2023 年 3 月 29 日付けでインターネット上の「事故情報データバンクシステム」<https://www.jikojoho.caa.go.jp/ai-national/> で国民向けに公開された。

## (3) 講演・講義および学会発表、論文発表

医療従事者等への当財団の活動を紹介する講演をはじめ、学会等での発表、化学災害対応を行う消防・警察職員や農薬取扱者などに対し 15 件の講演を行った。研究活動として 6 件の学会発表、3 編の論文発表、6 編の定期掲載執筆を行った。また、厚生労働科学研究補助金による研究について総括研究報告書 1 件を作成した。

### 1) 講演・講義

	時期	会議・講演会・講義名	講演者	タイトル/内容	開催地
1	2022. 6.28	2022 年度大阪大学医学部 附属病院薬剤部薬剤部実 務実習 講義	遠藤	「中毒情報と薬剤師の役 割」	大阪府
	2022. 7.14	第 44 回日本中毒学会学術 集会 市民公開講座「身近 な中毒を知ろう」	波多野	「家庭内の中毒、身近な 中毒」	高知県
2	9.30	2022 年度大阪大学医学部 附属病院 薬剤部薬剤部実 務実習 講義	遠藤	「中毒情報と薬剤師の役 割」	大阪府
3	11.16 11.18	第 17 回国民保護 C R テロ 初動セミナー	奥村	「現地調整所のやり方」、 「化学テロ災害初動」 「机上演習 2」	千葉県
4	11.18	第 17 回国民保護 C R テロ	吉岡	「化学テロから人命を守	千葉県

		初動セミナー			るためには」	
5	11.22	毒物劇物事故対策研修会	森家		「毒物劇物等による健康被害事例について」	長野県*
6	12.14 12.16	第18回国民保護CRテロ初動セミナー	奥村		「現地調整所のやり方」、 「化学テロ災害初動」	千葉県
7	12.16	第18回国民保護CRテロ初動セミナー	吉岡		「化学テロから人命を守るためには」	千葉県
8	12.27	2022年度大阪大学医学部附属病院 薬剤部研修制度講義	遠藤		「中毒情報と薬剤師の役割」	大阪府
9	2023.1.11	2022年度埼玉県農薬指導マスター研修会	高野		「農薬中毒対策の基礎知識」	埼玉県
10	1.13	京都市消防学校 専科教育 特殊災害過程	梶原 米谷		「毒・劇物中毒の基礎知識等」 ・中毒事故、化学災害における原因物質の基礎知識と消防活動上の留意点 ・災害発生時における日本中毒情報センターとの連携	京都市*
11	1.18	2022年度埼玉県ゴルフ場農薬安全使用管理士研修会	竹内		「農薬中毒対策の基礎知識」	埼玉県
12	2.7	甲府市毒物劇物取扱者講習会	高野		「毒物劇物等による健康被害事例について」	山梨県
13	3.9	兵庫県広域防災センター 専科教育（特殊災害科）	三瀬 橋本		「毒・劇物中毒の基礎知識等」 ・中毒事故、化学災害における原因物質の基礎知識と消防活動上の留意点 ・災害発生時における日本中毒情報センターとの連携	兵庫県
14	3.13	滋賀県消防学校 専科教育（救急科）	今田 橋本		「毒・劇物中毒の基礎知識等」 ・中毒事故、化学災害における原因物質の基礎知識と消防活動上の留意点 ・災害発生時における日本中毒情報センターとの連携	滋賀県
15	3.14	埼玉県消防学校第11期特殊災害科	飯田 森家			埼玉県*

\*：リモート講演

## 2) 学術図書および学術雑誌発表論文他

1. 齊藤剛, 奈女良昭, 大谷典生, 岡田光貴, 藤田友嗣, 三瀬雅史, 森川剛, 山口浩明, 日本中毒学会分析委員会:新規尿中乱用薬物スクリーニングキットの解説. 中毒研究 2022;35(4):339-343.

2. 遠藤容子, 波多野弥生:【ジェネラリストはここを押さえる!日常生活に潜む急性中毒24の対処法】(2章)家庭用品 家庭用品の中で安全なもの. jmed mook 2023;84:88-95.
3. 嶋津岳士:【ジェネラリストはここを押さえる!日常生活に潜む急性中毒24の対処法】(2章)医療用医薬品 精神神経用剤. jmed mook 2023;84:167-174.

### 3) 定期掲載

中毒研究：中毒情報センターから（ニュース欄）

1. 公益財団法人日本中毒情報センター:中毒情報センターから 2021年受信報告. 中毒研究 2022;35(3):211-243.
2. 今田優子, 波多野 弥生, 黒川 友里亜, 飯田 薫, 三瀬 雅史, 高野 博徳, 遠藤 容子, 吉岡 敏治:OTC配合剤の過量摂取における配合成分と症状の関係 イブプロフェン含有解熱鎮痛薬を例として. 中毒研究 2022;35(4):345-350.
3. 黒川 友里亜, 今田優子, 波多野 弥生, 飯田 薫, 三瀬 雅史, 高野 博徳, 吉岡 敏治:OTC配合剤の小児の誤飲に関する検討ーかぜ薬ー. 中毒研究 2023;36(1):61-66.

中毒研究：海外中毒情報文献

4. 黒川友里亜, 今田優子, 波多野弥生:海外中毒情報文献1)~17). 中毒研究 2022;35(3):266.
5. 黒川友里亜, 今田優子, 波多野弥生:海外中毒情報文献1)~17). 中毒研究 2022 ; 35(4):352.
6. 黒川友里亜, 今田優子, 波多野弥生:海外中毒情報文献1)~17). 中毒研究 2023;36(1):84.

### 4) 学会発表

1. 飯田薫, 波多野弥生, 三瀬雅史, 竹内明子, 今田優子, 高野博徳, 遠藤容子, 水谷太郎, 嶋津岳士, 吉岡敏治:Web を利用した急性中毒症例登録システムの構築. 第 44 回日本中毒学会総会・学術集会, 2022/7/15-2022/7/16 (Web 開催)
2. 井上貴昭, 宮内雅人, 杉田学, 三瀬雅史, 斉藤剛, 早川桂, 日本中毒学会学術委員会(改訂急性中毒標準診療ガイド編集委員会):いよいよ発刊! 改訂急性中毒標準診療ガイド. 第 44 回日本中毒学会総会・学術集会, 2022/7/15-2022/7/16 (Web 開催)
3. 奥村徹, 前川和彦, 石松伸一, 那須民江, 山末英典, 横山和仁, 森田洋, 岡本祐司, 藤田卓仙, 吉岡敏治:サリン事件アーカイブ化への取り組み. 第 50 回日本救急医学会総会・学術集会, 2022/10/19-2022/10/21 (東京、オンデマンド配信)
4. 奥村徹, 吉岡敏治:日本の化学テロ対応は国際的な水準と比べてどうなのか. 第 50 回日本救急医学会総会・学術集会, 2022/10/19-2022/10/21 (東京、オンデマンド配信)
5. 黒川友里亜, 今田優子, 波多野弥生, 竹内明子, 飯田薫, 三瀬雅史, 高野博徳, 遠藤容子, 水谷太郎, 吉岡敏治:OTC 配合剤の小児の誤飲に関する検討ーかぜ薬ー. 第 36 回日本中毒学会東日本地方会, 2023/01/28 (東京)
6. 米谷亮, 三瀬雅史, 竹内明子, 波多野弥生, 高野博徳, 遠藤容子, 吉岡敏治:インターネットで購入した製品による中毒事故の実態. 第 43 回日本中毒学会西日本地方会, 2023/02/25 (大阪)

## 5. 連絡・調整事業

昨年度に引き続き、奥村理事が厚生労働省厚生科学審議会厚生科学研究評価委員、消費者庁消費安全調査委員会の専門委員のほか、環境省原子力規制庁の放射線対策委託事業に協力した。また、量子科学技術研究開発機構で行われている国民保護CR初動セミナー（年2回）を共催し、吉岡代表理事、奥村理事が講演、演習指導を行った。厚生労働省薬事・食品衛生審議会の本委員（薬事分科会、毒物劇物部会担当）として遠藤施設長が、臨時委員（指定薬物部会担当）として高野施設長が、専門委員（家庭用品安全対策調査会担当）として波多野施設次長が、専門委員（毒物劇物調査会担当）として三瀬施設次長が協力した。また、厚生労働省厚生科学審議会健康危機管理部会の臨時委員として遠藤施設長が、同省医薬・生活衛生局審査管理課の医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討委員会の委員として高野施設長が、消費者庁消費安全調査委員会の臨時委員として波多野施設次長が協力した。

なお、化学テロ初動対応機関向けのWeb講義を、2021年4月1日より当法人Webサイトにて配信している。

## 6. その他

### 1) 厚生労働省からの委託事業「NBC災害・テロ対策研修」

厚生労働省医政局地域医療計画課からの委託により、昨年度に引き続き「NBC災害・テロ対策研修」を2回開催した。受講者は救命救急センター等の臨床医、看護師、薬剤師、事務員等で構成された1チーム5名（施設参加）で、3日間の研修を行う。第1回は11月10日～12日（大阪市）に10施設（50名）、第2回は12月9日～11日（つくば市）に10施設（46名）に対し、地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター、および公益財団法人筑波メディカルセンター、国立大学法人筑波大学のご協力のもと、研修を実施した。昨年度と同様に、コロナ禍での開催のため、受講者を例年の半数とした。

年度別受信件数とその起因物質構成比

表1  
公益財団法人 日本中毒情報センター

比較項目	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年	平成9年	平成10年
電話連絡者													
一般市民	19,313 ( 85.9 )	29,381 ( 82.9 )	28,292 ( 82.2 )	27,084 ( 80.2 )	32,550 ( 81.4 )	33,597 ( 81.6 )	36,303 ( 82.6 )	39,685 ( 83.7 )	38,693 ( 83.3 )	36,394 ( 78.6 )	33,223 ( 79.2 )	32,965 ( 73.7 )	35,855 ( 76.9 )
医療機関	2,878 ( 12.8 )	5,393 ( 15.2 )	5,453 ( 15.8 )	5,978 ( 17.7 )	6,520 ( 16.3 )	6,604 ( 16.1 )	6,692 ( 15.2 )	6,741 ( 14.2 )	6,648 ( 14.3 )	8,620 ( 18.6 )	7,823 ( 18.6 )	10,869 ( 24.3 )	9,849 ( 21.1 )
その他	280 ( 1.3 )	679 ( 1.9 )	693 ( 2.0 )	719 ( 2.1 )	934 ( 2.3 )	953 ( 2.3 )	968 ( 2.2 )	985 ( 2.1 )	1,088 ( 2.4 )	1,296 ( 2.8 )	929 ( 2.2 )	894 ( 2.0 )	907 ( 2.0 )
計	22,471	35,453	34,438	33,781	40,004	41,154	43,963	47,411	46,429	46,310	41,975	44,728	46,611
中毒起因物質													
家庭用品	14,792 ( 73.8 )	23,102 ( 71.9 )	22,452 ( 72.8 )	21,733 ( 72.6 )	22,941 ( 71.1 )	23,311 ( 70.9 )	24,385 ( 70.6 )	26,898 ( 71.9 )	26,302 ( 71.5 )	25,998 ( 70.1 )	23,693 ( 69.6 )	24,645 ( 69.0 )	25,097 ( 68.5 )
タバコ	3,107	4,494	4,370	4,393	4,894	5,666	6,058	6,841	6,645	6,424	5,596	5,663	5,267
化粧品	1,842	2,570	2,712	2,153	2,721	2,678	3,122	3,493	3,223	3,234	3,118	3,253	3,338
石鹼・洗剤	1,463	2,561	2,761	2,614	2,613	2,504	2,590	2,932	3,195	2,912	2,791	2,965	2,988
殺虫剤	791	1,974	1,993	1,814	2,061	2,088	2,105	2,240	2,382	2,171	1,747	1,774	2,023
文具類	923	1,248	1,248	1,066	1,483	1,438	1,588	1,764	1,715	1,707	1,607	1,599	1,739
防虫剤	859	1,239	1,080	985	896	844	863	866	716	738	654	760	692
体温計	859	1,191	1,048	975	974	953	1,006	928	898	830	762	735	634
乾燥剤	628	944	864	863	822	892	1,063	1,113	1,072	1,148	1,044	1,183	1,354
その他	4,320	6,881	6,376	6,870	6,477	6,248	5,990	6,721	6,456	6,834	6,374	6,713	7,062
医薬品	3,388 ( 16.9 )	5,532 ( 17.2 )	5,471 ( 17.8 )	5,470 ( 18.3 )	5,827 ( 18.0 )	5,944 ( 18.1 )	6,491 ( 18.8 )	6,747 ( 18.0 )	6,762 ( 18.4 )	7,058 ( 19.1 )	6,837 ( 20.1 )	7,388 ( 20.7 )	7,537 ( 20.6 )
医療薬	1,563	2,490	2,472	2,537	2,682	2,789	3,011	3,182	3,119	3,387	3,213	3,487	3,682
一般薬	1,825	3,042	2,999	2,933	3,145	3,155	3,480	3,565	3,643	3,671	3,624	3,901	3,855
農薬	657 ( 3.3 )	1,388 ( 4.3 )	1,126 ( 3.7 )	1,081 ( 3.6 )	996 ( 3.1 )	1,045 ( 3.2 )	1,060 ( 3.1 )	913 ( 2.4 )	889 ( 2.4 )	1,111 ( 3.0 )	970 ( 2.9 )	1,110 ( 3.1 )	1,215 ( 3.3 )
自然毒	443 ( 2.2 )	767 ( 2.4 )	629 ( 2.0 )	668 ( 2.2 )	778 ( 2.4 )	837 ( 2.5 )	808 ( 2.3 )	942 ( 2.5 )	810 ( 2.2 )	825 ( 2.2 )	652 ( 1.9 )	675 ( 1.9 )	765 ( 2.1 )
工業用品	451 ( 2.2 )	815 ( 2.5 )	868 ( 2.8 )	839 ( 2.8 )	1,237 ( 3.8 )	1,278 ( 3.9 )	1,364 ( 3.9 )	1,443 ( 3.9 )	1,506 ( 4.1 )	1,604 ( 4.3 )	1,440 ( 4.2 )	1,484 ( 4.1 )	1,586 ( 4.3 )
その他	330 ( 1.6 )	523 ( 1.7 )	270 ( 0.9 )	163 ( 0.5 )	523 ( 1.6 )	465 ( 1.4 )	444 ( 1.3 )	497 ( 1.3 )	530 ( 1.4 )	488 ( 1.3 )	441 ( 1.3 )	419 ( 1.2 )	457 ( 1.2 )
計 (中毒例のみ)	20,061	32,127	30,816	29,954	32,302	32,880	34,552	37,440	36,799	37,084	34,033	35,721	36,657

比較項目	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
電話連絡者													
一般市民	35,243 ( 76.1 )	36,780 ( 75.1 )	36,487 ( 75.4 )	33,228 ( 73.1 )	33,340 ( 74.0 )	30,979 ( 74.5 )	29,839 ( 74.7 )	28,461 ( 74.2 )	35,522 ( 78.9 )	39,142 ( 81.1 )	42,652 ( 85.0 )	42,130 ( 86.0 )	42,191 ( 86.7 )
医療機関	10,157 ( 21.9 )	11,010 ( 22.5 )	10,702 ( 22.1 )	10,940 ( 24.0 )	10,403 ( 23.1 )	9,394 ( 22.6 )	8,975 ( 22.5 )	8,557 ( 22.3 )	7,927 ( 17.6 )	7,287 ( 15.1 )	5,862 ( 11.7 )	5,398 ( 11.0 )	5,077 ( 10.4 )
その他	904 ( 2.0 )	1,177 ( 2.4 )	1,232 ( 2.5 )	1,301 ( 2.9 )	1,304 ( 2.9 )	1,229 ( 3.0 )	1,142 ( 2.9 )	1,359 ( 3.5 )	1,567 ( 3.5 )	1,863 ( 3.9 )	1,661 ( 3.3 )	1,487 ( 3.0 )	1,395 ( 2.9 )
計	46,304	48,967	48,421	45,469	45,047	41,602	39,956	38,377	45,016	48,292	50,175	49,015	48,663
中毒起因物質													
家庭用品	25,336 ( 68.3 )	26,140 ( 66.9 )	25,668 ( 66.3 )	24,258 ( 65.0 )	24,216 ( 65.5 )	21,889 ( 64.0 )	21,085 ( 64.0 )	19,251 ( 63.0 )	22,249 ( 64.2 )	23,640 ( 64.5 )	24,612 ( 65.4 )	24,038 ( 64.9 )	23,463 ( 62.8 )
タバコ	5,366	5,050	4,553	4,024	3,523	3,200	2,864	2,595	3,345	3,637	4,088	3,692	3,230
化粧品	3,349	3,572	3,810	3,530	3,764	3,183	2,948	2,600	3,153	3,393	3,618	3,597	3,557
石鹼・洗剤	3,056	3,202	3,054	2,875	2,823	2,604	2,612	2,429	2,659	2,915	2,800	2,775	2,610
殺虫剤	1,957	2,126	1,964	1,921	1,876	1,796	1,676	1,524	1,785	1,827	1,929	2,026	1,863
文具類	1,770	1,916	1,880	1,781	1,904	1,732	1,685	1,585	1,758	1,735	1,728	1,710	1,747
防虫剤	691	761	738	593	621	516	534	466	494	537	542	518	451
体温計	682	587	536	539	491	439	462	362	387	325	359	295	274
乾燥剤	1,283	1,343	1,268	1,388	1,392	1,331	1,367	1,206	1,319	1,526	1,817	1,911	1,979
その他	7,182	7,583	7,865	7,607	7,822	7,088	6,937	6,484	7,349	7,745	7,731	7,514	7,752
医薬品	7,676 ( 20.7 )	8,790 ( 22.5 )	8,995 ( 23.2 )	9,025 ( 24.2 )	8,752 ( 23.7 )	8,428 ( 24.7 )	8,301 ( 25.2 )	7,842 ( 25.7 )	8,790 ( 25.4 )	9,202 ( 25.1 )	9,663 ( 25.7 )	9,585 ( 25.9 )	10,796 ( 28.9 )
医療薬	3,935	4,668	4,976	5,003	4,948	4,997	5,108	4,939	5,438	5,753	6,101	6,198	7,144
一般薬	3,741	4,122	4,019	4,022	3,804	3,431	3,193	2,903	3,352	3,449	3,562	3,387	3,652
農薬	1,142 ( 3.1 )	1,119 ( 2.9 )	1,089 ( 2.8 )	995 ( 2.7 )	937 ( 2.5 )	883 ( 2.6 )	844 ( 2.6 )	760 ( 2.5 )	824 ( 2.4 )	831 ( 2.3 )	701 ( 1.9 )	669 ( 1.8 )	519 ( 1.4 )
自然毒	858 ( 2.3 )	818 ( 2.1 )	846 ( 2.2 )	807 ( 2.2 )	809 ( 2.2 )	758 ( 2.2 )	714 ( 2.2 )	714 ( 2.3 )	840 ( 2.4 )	977 ( 2.7 )	852 ( 2.3 )	852 ( 2.3 )	751 ( 2.0 )
工業用品	1,574 ( 4.3 )	1,692 ( 4.3 )	1,565 ( 4.0 )	1,553 ( 4.2 )	1,449 ( 3.9 )	1,454 ( 4.3 )	1,310 ( 4.0 )	1,395 ( 4.6 )	1,274 ( 3.7 )	1,315 ( 3.6 )	1,116 ( 3.0 )	1,169 ( 3.2 )	1,067 ( 2.9 )
その他	489 ( 1.3 )	494 ( 1.3 )	571 ( 1.5 )	652 ( 1.7 )	802 ( 2.2 )	775 ( 2.3 )	701 ( 2.1 )	580 ( 1.9 )	653 ( 1.9 )	662 ( 1.8 )	707 ( 1.9 )	720 ( 1.9 )	740 ( 2.0 )
計 (中毒例のみ)	37,075	39,053	38,734	37,290	36,965	34,187	32,955	30,542	34,630	36,627	37,651	37,033	37,336

比較項目	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	累計
電話連絡者												
一般市民	40,318 ( 86.7 )	38,825 ( 87.1 )	38,722 ( 87.7 )	41,452 ( 88.3 )	39,885 ( 88.6 )	37,605 ( 88.0 )	36,782 ( 88.6 )	35,913 ( 88.8 )	35,977 ( 89.6 )	32,190 ( 88.9 )	32,000 ( 89.7 )	1,298,998 ( 82.0 )
医療機関	4,740 ( 10.2 )	4,367 ( 9.8 )	3,959 ( 9.0 )	3,962 ( 8.4 )	3,732 ( 8.3 )	3,771 ( 8.8 )	3,371 ( 8.1 )	3,198 ( 7.9 )	2,856 ( 7.1 )	2,854 ( 7.9 )	2,492 ( 7.0 )	241,059 ( 15.2 )
その他	1,434 ( 3.1 )	1,397 ( 3.1 )	1,448 ( 3.3 )	1,530 ( 3.3 )	1,416 ( 3.1 )	1,352 ( 3.2 )	1,357 ( 3.3 )	1,332 ( 3.3 )	1,299 ( 3.2 )	1,146 ( 3.2 )	1,172 ( 3.3 )	43,829 ( 2.8 )
計	46,492	44,589	44,129	46,944	45,033	42,728	41,510	40,443	40,132	36,190	35,664	1,583,886
中毒起因物質												
家庭用品	22,339 ( 62.0 )	20,813 ( 60.4 )	19,898 ( 59.4 )	21,116 ( 59.3 )	20,520 ( 59.4 )	19,113 ( 57.6 )	17,827 ( 55.9 )	16,448 ( 53.3 )	16,920 ( 56.0 )	14,755 ( 54.3 )	14,254 ( 52.2 )	815,197 ( 64.9 )
タバコ	2,874	2,550	2,409	2,693	2,850	2,905	2,296	2,007	1,883	1,570	1,674	144,296
化粧品	3,403	3,135	2,919	3,172	3,090	2,739	2,654	2,719	2,949	2,723	2,617	113,651
石鹼・洗剤	2,545	2,497	2,561	2,710	2,382	2,382	2,141	2,279	2,427	2,124	1,844	97,195
殺虫剤	1,753	1,539	1,516	1,427	1,367	1,183	1,114	1,113	1,120	951	710	63,226
文具類	1,542	1,502	1,565	1,601	1,659	1,662	1,568	1,357	1,118	945	1,001	57,576
防虫剤	481	436	375	335	282	255	255	203	179	158	169	21,782
体温計	263	223	210	214	166	147	135	68	136	75	63	19,231
乾燥剤	2,077	1,865	1,648	1,690	1,545	1,409	1,118	782	642	601	655	46,152
その他	7,401	7,066	6,695	7,274	7,179	6,431	6,546	5,920	6,466	5,608	5,521	252,088
医薬品	10,605 ( 29.4 )	10,703 ( 31.1 )	10,696 ( 31.9 )	11,351 ( 31.9 )	10,682 ( 30.9 )	10,455 ( 31.5 )	10,520 ( 33.0 )	10,938 ( 35.4 )	10,157 ( 33.6 )	9,473 ( 34.8 )	10,024 ( 36.7 )	311,901 ( 24.8 )
医療薬	7,033	7,165	7,267	7,794	7,425	7,278	7,366	7,541	6,817	6,391	6,919	185,818
一般薬	3,572	3,538	3,429	3,557	3,257	3,177	3,154	3,397	3,340	3,082	3,105	126,083
農薬	532 ( 1.5 )	473 (										

表2

公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒110番 月別受信件数

令和4年

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	1日平均	構成比(%)
1. 総受信件数	2,720	2,534	2,911	3,040	3,261	3,123	3,308	3,068	2,985	2,938	2,880	2,896	35,664	97.7	100.0
急性中毒	2,065	1,919	2,221	2,351	2,468	2,438	2,546	2,296	2,321	2,308	2,198	2,181	27,312	74.8	76.6
急性中毒以外	655	615	690	689	793	685	762	772	664	630	682	715	8,352	22.9	23.4
異物	224	231	247	226	249	234	256	264	228	208	236	230	2,833	7.8	7.9
その他	431	384	443	463	544	451	506	508	436	422	446	485	5,519	15.1	15.5
2. 急性中毒電話連絡者	2,065	1,919	2,221	2,351	2,468	2,438	2,546	2,296	2,321	2,308	2,198	2,181	27,312	74.8	100.0
一般市民	1,834	1,723	1,956	2,107	2,175	2,125	2,299	2,090	2,084	2,046	1,958	1,955	24,352	66.7	89.2
医療機関	171	154	197	169	209	216	185	142	168	187	179	164	2,141	5.9	7.8
その他	60	42	68	75	84	97	62	64	69	75	61	62	819	2.2	3.0
3. 急性中毒内訳															
(1) 家庭用化学製品	1,081	991	1,111	1,172	1,307	1,305	1,428	1,329	1,236	1,160	1,074	1,060	14,254	39.1	52.2
乾燥剤	53	42	50	58	59	64	61	46	57	68	40	57	655	1.8	2.4
鮮度保持剤	19	15	16	15	8	15	12	12	20	21	13	21	187	0.5	0.7
化粧品	191	189	208	206	254	258	233	240	239	203	202	194	2,617	7.2	9.6
石鹼・洗剤	135	147	145	197	174	177	167	149	149	130	132	142	1,844	5.1	6.8
漂白剤	86	73	96	77	82	105	108	111	83	78	77	77	1,053	2.9	3.9
殺虫剤	21	26	24	41	58	81	111	111	93	68	46	30	710	1.9	2.6
たばこ関連品	160	122	143	133	145	126	156	145	145	131	137	131	1,674	4.6	6.1
文具	81	61	71	82	95	98	90	86	79	88	84	86	1,001	2.7	3.7
防虫剤	12	10	15	14	19	15	8	13	3	25	22	13	169	0.5	0.6
電池	29	29	30	18	27	26	44	20	31	27	24	15	320	0.9	1.2
殺そ剤	3	0	7	1	1	1	0	2	3	3	0	2	23	0.1	0.1
体温計	8	5	6	10	4	3	6	4	4	4	4	5	63	0.2	0.2
園芸用品	19	18	16	27	24	19	28	22	10	15	23	12	233	0.6	0.9
玩具	52	53	39	48	60	40	92	82	68	54	56	55	699	1.9	2.6
その他	212	201	245	245	297	277	312	286	252	245	214	220	3,006	8.2	11.0
(2) 医薬品	775	723	884	925	893	800	854	730	827	867	863	883	10,024	27.5	36.7
医療薬	520	493	628	646	623	550	594	492	584	565	607	617	6,919	19.0	25.3
一般薬	255	230	256	279	270	250	260	238	243	302	256	266	3,105	8.5	11.4
(3) 農薬	17	14	22	39	45	44	35	34	29	24	8	11	322	0.9	1.2
(4) 自然毒	70	80	94	102	111	146	118	101	120	133	118	90	1,283	3.5	4.7
(5) 工業用品	63	60	55	44	61	60	57	43	45	55	65	62	670	1.8	2.5
灯油	9	12	9	5	5	2	0	2	2	4	2	14	66	0.2	0.2
その他	54	48	46	39	56	58	57	41	43	51	63	48	604	1.7	2.2
(6) その他	59	51	55	69	51	83	54	59	64	69	70	75	759	2.1	2.8
食品	48	46	40	57	42	63	44	41	49	52	53	61	596	1.6	2.2
その他	11	5	15	12	9	20	10	18	15	17	17	14	163	0.4	0.6
急性中毒計	2,065	1,919	2,221	2,351	2,468	2,438	2,546	2,296	2,321	2,308	2,198	2,181	27,312	74.8	100.0

令和4年

中毒110番 都道府県別受信件数推移表

表3  
公益財団法人 日本中毒情報センター

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	1日平均	構成比(%)	対10万人
1 北海道	65	49	56	60	64	58	95	53	59	73	55	69	756	2.1	2.8	14.6
2 青森県	7	5	9	14	7	11	14	11	2	7	3	9	99	0.3	0.4	8.1
3 岩手県	11	5	10	8	7	8	9	6	9	6	15	8	102	0.3	0.4	8.5
4 宮城県	39	35	38	38	33	37	35	40	40	45	34	42	456	1.2	1.7	19.9
5 秋田県	3	3	2	3	7	1	4	2	5	3	5	6	44	0.1	0.2	4.7
6 山形県	8	4	11	5	15	9	15	10	9	9	10	5	110	0.3	0.4	10.4
7 福島県	17	14	24	18	27	21	24	16	31	20	15	11	238	0.7	0.9	13.1
8 茨城県	55	46	54	63	72	68	65	56	47	59	58	54	697	1.9	2.6	24.4
9 栃木県	35	27	36	35	35	37	43	22	38	31	25	26	390	1.1	1.4	20.3
10 群馬県	17	22	29	22	25	30	24	26	28	30	23	30	306	0.8	1.1	15.9
11 埼玉県	140	125	151	149	185	178	159	150	149	171	138	157	1,852	5.1	6.8	25.2
12 千葉県	88	101	109	104	121	104	122	97	96	114	109	106	1,271	3.5	4.7	20.3
13 東京都	248	243	282	323	311	308	331	279	320	274	294	290	3,503	9.6	12.8	25.0
14 神奈川県	161	155	182	147	172	176	174	172	181	181	168	167	2,036	5.6	7.5	22.0
15 新潟県	25	21	19	25	39	27	26	26	29	29	24	20	310	0.8	1.1	14.2
16 富山県	16	8	10	7	7	8	9	9	6	9	8	9	106	0.3	0.4	10.3
17 石川県	13	10	16	19	13	22	14	29	17	22	16	12	203	0.6	0.7	18.0
18 福井県	12	5	9	8	8	11	11	13	8	8	7	10	110	0.3	0.4	14.5
19 山梨県	10	7	15	8	14	14	12	16	18	15	8	15	152	0.4	0.6	18.9
20 長野県	30	17	29	40	22	30	32	21	32	27	34	37	351	1.0	1.3	17.3
21 岐阜県	22	14	27	24	29	29	25	16	21	26	20	14	267	0.7	1.0	13.6
22 静岡県	38	44	42	69	57	66	53	73	62	69	47	62	682	1.9	2.5	18.9
23 愛知県	90	89	106	108	149	169	152	123	129	105	134	105	1,459	4.0	5.3	19.4
24 三重県	35	17	32	34	41	34	48	33	33	27	36	36	406	1.1	1.5	23.1
25 滋賀県	20	23	23	28	26	36	32	27	18	28	22	21	304	0.8	1.1	21.5
26 京都府	47	39	58	47	59	64	45	59	46	59	37	56	616	1.7	2.3	24.1
27 大阪府	299	283	313	367	347	302	332	326	346	307	316	286	3,824	10.5	14.0	43.4
28 兵庫県	104	97	102	110	122	129	142	107	111	112	97	109	1,342	3.7	4.9	24.7
29 奈良県	34	28	28	25	43	40	46	41	31	36	33	25	410	1.1	1.5	31.2
30 和歌山県	30	23	25	29	24	29	26	31	23	30	31	32	333	0.9	1.2	36.4
31 鳥取県	6	9	8	7	7	5	4	7	6	7	5	5	76	0.2	0.3	13.8
32 島根県	8	6	4	9	8	6	12	6	7	10	11	8	95	0.3	0.3	14.3
33 岡山県	38	34	31	42	37	38	45	46	39	37	36	39	462	1.3	1.7	24.6
34 広島県	50	27	50	55	53	45	56	47	48	39	42	36	548	1.5	2.0	19.7
35 山口県	23	12	23	14	12	18	14	18	17	13	11	5	180	0.5	0.7	13.6
36 徳島県	12	10	14	8	11	16	13	9	11	11	14	15	144	0.4	0.5	20.2
37 香川県	14	14	14	11	15	17	12	17	22	20	16	11	183	0.5	0.7	19.4
38 愛媛県	20	21	22	30	22	26	18	20	12	16	25	19	251	0.7	0.9	19.0
39 高知県	7	13	11	15	11	5	14	14	9	8	7	11	125	0.3	0.5	18.3
40 福岡県	57	65	61	84	75	58	68	72	61	66	90	67	824	2.3	3.0	16.1
41 佐賀県	9	13	9	13	8	10	18	10	10	14	11	16	141	0.4	0.5	17.5
42 長崎県	15	19	18	11	16	22	21	18	17	17	12	19	205	0.6	0.8	15.8
43 熊本県	15	16	17	22	19	12	12	18	13	18	11	21	194	0.5	0.7	11.2
44 大分県	12	16	20	17	15	19	13	10	9	16	10	6	163	0.4	0.6	14.6
45 宮崎県	9	10	9	15	18	12	20	18	12	10	14	16	163	0.4	0.6	15.4
46 鹿児島県	15	22	13	22	14	12	29	21	20	15	18	9	210	0.6	0.8	13.3
47 沖縄県	14	21	14	8	10	18	11	13	20	16	12	8	165	0.5	0.6	11.2
小計	2,043	1,887	2,185	2,320	2,432	2,395	2,499	2,254	2,277	2,265	2,167	2,140	26,864	73.6	98.4	21.4
48 海外	0	0	1	2	3	0	0	2	2	1	3	2	16	0.0	0.1	—
49 不明	22	32	35	29	33	43	47	40	42	42	28	39	432	1.2	1.6	—
合計	2,065	1,919	2,221	2,351	2,468	2,438	2,546	2,296	2,321	2,308	2,198	2,181	27,312	74.8	100.0	—